

2016 年度 学校関係者評価
報告書

学校法人滋慶学園
東京ベルエポック美容専門学校

作成日:平成 28 年 6 月 24 日

学校法人 滋慶学園 東京ベルエポック美容専門学校

第 1 回学校関係者評価委員会議報告書

報告書作成者:徳永 麻衣子

1. 開催日時 平成 28 年 6 月 24 日(金) 15:00~16:30
2. 開催場所 東京ベルエポック美容専門学校 第 2 校舎
3. 参加者 学校関係者評価委員

平成 28 年度学校関係者評価委員会 委員

陟山 智雅 (ヘアメイクアーティスト) 【卒業生代表】

谷 優子 【保護者代表】

森 幸男 (江戸川区東葛西雷町会 会長/元葛西消防団 団長)

【近隣関係者代表】

遠藤 行巳 (千葉商科大学付属高等学校 学校長) 【高校関係者】

山元 健次郎 (株式会社 髪師 代表取締役) 【業界代表】

木下 美穂里 (日本ネイリスト協会 理事/株式会社 ユミ・クリエイション
代表取締役) 【業界代表】

学校側参加者

浮舟 邦彦 (滋慶学園 理事長)

浮舟 洋子 (東京ベルエポック美容専門学校 学校長)

片山 裕介 (東京ベルエポック美容専門学校 副学校長)

岩村 勇 (東京ベルエポック美容専門学校 事務局長)

山口 敦 (東京ベルエポック美容専門学校 事務局次長)

仁村 将大 (東京ベルエポック美容専門学校 学科長)

鈴木 絵理 (東京ベルエポック美容専門学校 学科長)

徳永 麻衣子 (東京ベルエポック美容専門学校 学生サービスセンター)

4. 会議の概要

- (1) 各委員ご紹介
- (2) 委嘱状交付 全委員授与
- (3) 平成 27 年度自己点検・自己評価結果報告
及び平成 28 年度重点目標の説明
- (4) 質疑応答及び審議

(自己点検評価・重点目標説明への意見)

- 意見 1 学生時代に経験した事は、将来必ず役に立つ。学生サロンやアシスタントプログラム等は経験という面でも、良いプログラムだと考える。
- 意見 2 美容師の離職率が高い。在学中頑張っているけど、辞めてしまってもったいない。まずは1年間、頑張っていてほしい。辞めてしまう原因として、今の学生は我慢ができなくなっていると感じる。環境に対応できずに辞めてしまう。美容業界全体としても、現場で簡単に辞めさせてしまう傾向があり、離職率が課題である。現場の楽しさを学生に教え、ゆくゆくは美容室のオーナー達に、人材教育について教えたいと考えている。
- 意見 3 出張学生サロンなども学生には良い経験になるように思います。(定期的に施設に行くなど)
- 意見 4 色々と授業や学校の取り組み等を見て、高校側としても勉強になる部分があった。問題に挙がっていた専門学校の離職率の部分で、高校の教育にも原因があると考える。
- 意見 5 就職率 100%、いろいろな資格や免許獲得を見ると、学修の成果が出ていると思う。
- 意見 6 自分が就職希望するサロンで勤める卒業生と会話できる機会があると学生にとっていいかもしれません。離職の原因の一つの「イメージと違った」というところは改善しやすいかもしれません。
- 意見 7 いろいろな形で外部の意見や内部の意見を聞き、学校運営にあたらうとする意欲が強く感じられる。教育理念を大切にしており、経営者サイドからのみの傲慢な経営が感じられない。
- 意見 8 アシスタントプログラム等の業界との繋がりの中で、現在大学も業界との繋がりを強くしている。高校も業界と一部コラボしている部分もある。業界との繋がりが非常に大切である。現場を学ぶ事が大切。
- 意見 9 保護者との連携や社会・地域との連携・産学連携が図られており、学生を支援する体制ができている。

意見 10 体験授業に来た高校生たちも、もう少し授業見学ができるチャンスがあれば、入学後のイメージが付きやすくなり、厳しい授業でも頑張って取り組みやすくなるのではないかと思います。

5. 次回開催予定日

平成 29 年 6 月 予定

6. 評価結果およびご意見に基づく改善方策

- 学生サロン・アシスタントプログラム等の現場経験プログラムについて、より一層の充実を図る。
- 美容業界では、施術だけではなく物販が出来る能力も求められている。サロンワークのカリキュラムの一環として、物販に特化した内容を新たに取り入れていく。
- 美容業界では離職率の高さが問題となっている。在学中からキャリア教育・支援を強化し、業界で継続的に働き続け、活躍できる人材を養成していく。